

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	5-1																																						
PDCA	主要事業名	男女共同参画社会推進事業	部課名	企画部市民協働課	担当	富田																																						
					内線	236																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 2 - 2 単位施策： 自分らしく生きられる社会 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 748 千円 会計 一般会計 歳出科目 02.01.12.04.01 3か年実施計画（当該年度事業費等）： — 千円																																											
	事業概要等	事業概要： 半田市男女共同参画推進条例並びに第2次半田市男女共同参画推進計画に基づき、啓発等の事業を実施することで市民の男女共同参画への理解促進を図る。また、第2次半田市男女共同参画推進計画の着実な遂行のため、同計画に規定する施策の進捗状況の把握・検証を行う。																																										
		事業目的： 市民、教育関係者及び事業者と協力、連携を取り、男女共同参画の推進を図る。																																										
		事業内容： 男女共同参画の日記念イベント、小中学校出前授業、市職員及び教職員研修の実施、男女共同参画社会推進事業補助金の活用により性別に関係なく誰もが活躍できる社会の形成を図る。																																										
	問題点・課題等： 若い世代を含めた幅広い世代に対して、男女共同参画意識の向上を図っていく必要がある。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																										
	748 千円	半田市を誰もが性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる社会とするために必要不可欠な事業であるため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 748 千円	イベント等の啓発事業をととして、市民の男女共同参画への理解が深まり、市民が自分らしく生きられる社会が形成される。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①市職員対象男女共同参画講座受講率</td> <td>実績値</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②各男女共同参画社会推進事業参加者数</td> <td>実績値</td> <td>1,213</td> <td>2,018</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他 0 千円</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	①市職員対象男女共同参画講座受講率	実績値	91	91	—	%	目標値	100	100	100	%	②各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	1,213	2,018	—	人	目標値	900	900	900	人	その他 0 千円	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
①市職員対象男女共同参画講座受講率	実績値	91	91	—	%																																							
	目標値	100	100	100	%																																							
②各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	1,213	2,018	—	人																																							
	目標値	900	900	900	人																																							
その他 0 千円	実績値																																											
	目標値																																											
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																										
	415 千円	目標数値を下回った成果指標があるものの、各種イベントや講座・研修等の参加者アンケートにおいて男女共同参画意識が向上している結果であることから、一定の理解促進につなげることができている。																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">市職員対象男女共同参画講座受講率</td> <td>実績値</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各男女共同参画社会推進事業参加者数</td> <td>実績値</td> <td>617</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>900</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和3年度	単位	市職員対象男女共同参画講座受講率	実績値	100	%	目標値	100	%	各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	617	人	目標値	900	人																				
	成果指標		令和3年度	単位																																								
市職員対象男女共同参画講座受講率	実績値	100	%																																									
	目標値	100	%																																									
各男女共同参画社会推進事業参加者数	実績値	617	人																																									
	目標値	900	人																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 女性活躍の視点に立った防災をテーマとした講演会、性別にとらわれない職業選択を伝える小学校出前講座、性の多様性を学ぶ市職員（教職員含む）研修等の実施を通じ男女共同参画意識の向上に努めた。また、男女共同参画の推進状況から見てきた課題を整理するなか、さらなる固定的性別役割分担意識の解消、各分野における女性活躍や多様性の理解などの新たな視点を踏まえた「第3次半田市男女共同参画推進計画」を策定した。																																										
	A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<b>拡充推進</b> 「第3次半田市男女共同参画推進計画」の将来像である“みんなが自分らしく生きられるまち”の実現に向け、子どもや家族、事業所などを新たなターゲットとして各種講座や研修、イベントを展開するとともに、多様性を認め合うまちを目指し「パートナーシップ制度」の導入に向け検討を進める。																																									
観点別評価		必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト 削減余地 ※手段の変更	ある																																							
	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 大きい	⑧受益者負担適正化余地	ある																																								
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																										

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）